

第10期 第7回 豊中市廃棄物減量等推進審議会議事録

【日 時】平成29年(2017年)9月13日(水)10時から12時まで

【場 所】豊中市立中央公民館 1階集会場

【出席委員】渡辺会長、浅利副会長、花嶋委員、仲尾委員、中西委員、山田委員
新開委員中澤委員、長谷川委員、神保委員、東委員、岡田委員、米田委員
澤村委員、大西委員

(委員15名全員出席：有効に成立)

【傍聴者】0名

【事務局】河本、井藤、勝井、吉村、渡邊、豊田、射場、鈴木、森、中西
中川、溝口、大道、北野、澤坂、吉島、松本、

【コンサルタント】齋藤

1. 開会宣言 (事務局)

2. 配付資料確認

第10期 第7回 豊中市廃棄物減量等推進審議会 議事次第

資料1 第6回廃棄物減量等推進審議会における振り返り

資料2 答申

資料3 第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画(素案)

資料4 第4次豊中市ごみ減量計画(素案)

当日配布資料1～3

3. 出欠確認および署名委員指名

本日の会議は公開ですので、よろしく申し上げます。傍聴希望者は0名です。委員15名全員が出席されているので過半数を超えており、審議会規定第6条により本日の会議は有効に成立しています。議事録署名委員については、長谷川委員と神保委員に担当していただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

4. 審議

○会長

まず、事務局から次第に沿って振り返りの説明をお願いします。

案件1. 第6回廃棄物減量等推進審議会における振り返りについて

○事務局

(資料1に沿って説明)

○会長

では、続きまして第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画に係る答申の報告について事務局から説明をお願いします。

案件2. 第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画に係る答申の報告について

○事務局

(資料2に沿って説明)

○会長

ただいま事務局から説明がありましたとおり、答申書を提出させていただきました。市長に、他所から転入される方とのコミュニケーションツールとしても、ごみの問題は有効だということをお話しさせていただいたのでご報告いたします。

では、続きまして、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画(素案)について事務局から説明をお願いします。

案件3. 第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画(素案)について

○事務局

(資料3に沿って説明)

○会長

本日の審議の後、パブリックコメントを経て2月に開催予定の第8回審議会で内容を固める予定ですので、あまり大きく変更を加えることはないと思いますが、何かお気づきの点がありましたらご発言いただけますか。

○副会長

資料3、20ページ目のごみ質の現状のグラフについて、他は昭和から始まる経年変化を掲載しているが、ごみ質についても経年変化を掲載してはどうですか。また、上の表2-9では手を付けていない食料品が記載されているので、下の円グラフについても記載してはどうでしょうか。

次に29ページの課題の整理について、16行目、6)安定した循環型社会基盤施設の運用については、具体的に32ページに記載していますが、「循環型社会基盤施設」は、あまり聞きなれない言葉ですが。ここの本文を読むと廃棄物処理施設と思われれます。もし「循環型社会基盤施設」という文言を用いるのであれば、他の有害物質関連のリサイクル施設にも言及した方が良いと思います。続いて49ページ、災害廃棄物適正処理では、平時の地域の足腰を鍛えることが重要だと考えますので、基本的な考え方に平時の各種政策や相互発展という文言を加えていただければ、具体的な取組みとして、空家やストックごみは日頃から管理し、低減することで災害時に大量に排出されなくなり、被災が広がることが防げます。防災分野と関連が強いのですが、地域防災は地域によって違いがあります。自治会に入会しない方も多くなっており、地域防災と環境教育の連携によって住民の意識を向上させるような試みもできるのかと思います。以上、平時の地域の足腰を鍛えることが災害への準備につながるということ盛り込んでいただければと思います。

○会長

ごみ質に関する件では、20 ページに経年変化を見ることができるようなデータがあれば、掲載するほうが良いと思います。近年の状況から見ると、ひとり暮らしの増加から中食が増え、厨芥の水分が減ってきていると推測されますが、そのあたりが興味深いと思っています。それから循環型社会基盤施設では、文章だけを見ると、ごみ処理施設と埋立処分場だけを思わせる文章になっていますが、小型家電などの特異なものもここに書き込めば良いと思われます。災害廃棄物の処理では、コミュニティのことについて記載することは難しいと思います。現在、所有者のわからない空き家問題が起こっています。このことについてみなさんお気づきのことがありましたら、ご発言ください。

○委員

宮山地区では、空き家が多くあり、敷地内に大量の家電等が廃棄されています。持ち主の対応がないので、この件に関して行政が強制力を持って対応できないでしょうか。

○事務局

空き家対策については、他部署で対応しています。廃棄物と関連するところについては調整して書き込んでいきたいと考えています。

○会長

豊中市は、能勢などの郊外地と違って、空き家問題が少ない地域です。所有権、財産処分権は強く守られているので、自治体が簡単に手をつけることは難しい状況です。

○委員

なぜごみの減量が必要なのかということは、資料3、1 ページに整理はされています。しかし、市民全体が理解をするためには、もっとわかりやすく箇条書きにした方がいいと思います。例えば、豊中市の人口が想定よりも少し増えており、それに伴ってクリーンランドの焼却能力について余力を持って対処できない状態であること。また、大阪湾の最終処分場もあと10年の寿命であること、そういった状況を打開するために市民一人ひとりの努力が必要だということを記載する必要があります。さらに、食品ロスを減らしていくと同時に紙ごみをもっと減らさないといけません。この2つの問題を並列的に記載してはどうですか。7 ページの市町村との比較ですが、これは非常にわかりやすいと思います。豊中市は、非常に頑張っていますが、事業者が頑張るとももっとよくなると感じます。30 ページ、少子高齢化の急激な進行によって地域コミュニティに変化が生じています。28 行目に、特に自治会を軸とした手法とありますが、マンションについては、自治会に加入している、していないところがあります。豊中市では、マンションが増加し、私の地区では戸建てよりマンションの方がずっと多くなっています。豊中市社会福祉協議会では、マンションサミットという取組みもされています。共同住宅を取り巻く変化についても記載する必要があるのではないのでしょうか。続いて49 ページの災害廃棄物の適正処理について。9月2日に大門公園で合同防災訓練があり、私も出席しました。各地域の自主防災組織の人たちが集まって訓練を行いました。非常に熱心な団体であり、このような団体と常に連携を図らなければならないと思います。

○会長

1 ページのごみ減量の必要性に係るところ、文章で書くよりも箇条書きでというご提案がありました。概要版を作る予定ですね。

○事務局

計画策定の主旨ということで、堅苦しい文言になっていますが、この計画をお示しする際には、概要版を作成し、市民にわかりやすいようにまとめる予定です。また、毎年2月に2020 ごみ減量通信を配布しています。そこでもわかりやすく説明する予定です。

○会長

他に、マンションの件でご指摘がありました。30 ページ、2) 少子化・高齢化の急激な進行による地域コミュニティの変容という部分で、自治会の問題の箇所に集合住宅を視野に入れた表現を追記しますか。

○事務局

おそらく今のお話しは、自治会に所属しないマンションの管理組合のことかと思います。豊中市の自治会加入率は50%を切る低い割合となっています。豊中市はマンションサミットにも参加し、集団回収に取り組んでいます。従来からの自治会を軸とした手法と併せて、管理組合にも力を入れ、実際に周知啓発をしているという状態です。

○委員

管理組合は、法的にもマンションの居住者は全員加入しなければならないので意思統一がしつかりできています。自治会は組織そのものが弱ってきています。そのような状態にあるので、集合住宅についてもきちんと文章化した方が良いと思います。

○委員

この計画について「はじめに」があれば、「おわりに」が必要だと思います。第6章がそれを兼ねていると思いますが、少しずつれているように読みとっています。また、現状では、第2部の生活排水が浮いていると思います。「はじめに」の文中に、生活排水の話を入れると良くなると思います。

○会長

自治会と管理組合を併記する方が実態に合っていると思いますので、記載して下さい。また、全体の枠組みで、「はじめに」のところに排水のことを書いていないのはご指摘のとおりなので、付け加えて下さい。

○委員

第2部は附属書扱いにするのも、一つの方法です。そうすれば「はじめに」に書き加える必要がありません。

○会長

元々、廃棄物の半分位はし尿で、いわば本丸だったということもあるので、生活排水を附属書扱いにするより「はじめに」に付け加える形にしてください。

○委員

23 ページに、民間委託業者の収集区域の表があります。これに直営で処理しているごみ種を記載してはどうでしょうか。また、民間委託と直営のごみ種をそれぞれ記載してはどうですか。

○委員

私は、終活で色々なものを整理しています。まだ新しい家具をリサイクルセンターに持ち込むと、すべて目の前で破壊され、ショックを受けました。これをどうにかしてリユースできないのか、まだ使えるものをどのように活用したらいいのか悩んでいます。

○事務局

家具類の中には、まだ使えるのに捨てるのがもったいないものが非常に多いと感じています。粗大ごみに出されると、収集者と排出者と対面することはありませんが、引っ越しに伴う臨時ごみ収集は、排出者と会うことができます。その際にリユース品として活用して良いかの確認をとっています。その後、その品物は NPO 法人アジェンダ 2 1 や社会福祉協議会と連携しながら生活困窮者等に使用いただいています。続いて、23 ページの民間委託業者の収集地域については直営で収集している分別区分についても併せて記載した表に変更します。

○委員

36 ページ、市民 1 人 1 日当たりのごみ排出量の動向について、ごみの総量は増えていますが焼却量は減っています。それは資源ごみが含まれているからです。よく読むと 1 人当たりのごみ量に資源ごみが含まれていてリサイクルされているとわかりますが、現行の計画での取組みの効果があつたことを示すためにも、もっと市民にわかりやすい表現にしていきたい。

○会長

ごみ量に資源を含むと、資源を含まないという記載は、並列しているのでわかりにくくなっています。それまでは統計上、ごみ量は資源を含んでいましたが、資源を除いたごみ量を記載するようになったので困っています。5 年後中間報告の時くらいには、ごみに資源を含むという記載ではなく、ごみはごみ、資源は資源とすればいいと思います。

○事務局

現行の計画の目標は、ごみの総量を 20%減らす、あるいは 1 人 1 日当たりを減らしていくが、そこには再生資源が含まれているということです。一方で減らしていこうとしながら資源化量は増やしていくという矛盾した目標になっています。現在この審議会で話し合っているのは、38 ページにありますように、焼却処理量を 8%減らすということです。「家庭系ごみ 1 人 1 日当たりの部分をこれだけ減らしていきます。」というのは、「再生資源は除きましょう。」ということで、目標として矛盾がないように考えています。

案件4. 第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画(素案)に基づく第4次ごみ減量計画(素案)について

○事務局

(資料4に沿って説明)

○会長

第4次ごみ減量計画について気が付いた点があれば、ご発言下さい。

○委員

資料4、1ページ、図1-1のグラフについて、実績値と予測値の表現をわかりやすいようなグラフにしていきたい。平成28年度までの実績部分は実線で、平成29年度からの予測部分は点線にするなど表現を変えてはどうでしょうか。基本計画も同様になっているので修正して下さい。また、ごみ減量計画の構成には、起承転結が大事と考えます。第1章が「はじめに」の扱いなのではないでしょうか。最後に「おわりに」というものを追記したらいい計画になると思います。

○会長

グラフの予測部分と実績部分で、白抜きにするなど表現を変えることは可能ですか。

○委員

点線にしてもいいと思います。

○事務局

修正します。

○会長

それではお願いします。

○委員

2Rを重点化すると書いていますが、2Rのうちの再使用については、16ページの一番上の行、②再使用に向けた取組みという記載があるくらいです。確かに再使用は難しいかもしれませんが、自分が使ったものが、そのまま壊されたり焼却工場のピットの中に入ってしまうのが悲しいというお気持ちもあると思いますので、再使用をしてくれるようなショップや業者の情報提供を、環境交流センターなどに新たな委託をするという形にすると、市民も多様な選択ができるようになるのではないかと思います。あるいは、若干お金を払ってでも次の利用者を探して欲しいということもあるかも知れません。

○委員

今の意見に関連すると思いますが、自宅に電話をかけて、「不要品を売って下さい。」という業者にお年寄りが騙されているケースが最近増えているようです。適正な業者に持っていきたいので、市民にこのような情報を提供していただきたい。

○委員

13 ページの〈参考4〉食品販売に対する市民の考え方で気になったのは、「閉店間際は品薄で構わないので、新鮮なものを安価に販売」と「閉店間際まで品揃えを豊富にし、値引き販売等で売れ残りを削減」この質問の意図がわかりません。

○会長

リユースの件ですが、市が関与するからといってすぐに見つかるとは限りません。犯罪めいたものには、注意が必要だと思います。あと、〈参考4〉については、なぜこのグラフが記載されているのかということを経理局からご説明いただけますか。

○事務局

これは昨年度実施した市民アンケートで、結果等については審議会でもお配りしています。この2つの選択肢の違いについては、「閉店間際は品薄でいい」のか、もしくは「品揃え豊富がいい」のかということです。

○委員

3 ページの(1)基本姿勢の箇所について、循環型社会とはいったいどういうことかがよくわからなかったので、調べてみました。持続可能な社会を作り、次世代の子どもたちにも目を向けた施策に取り組むためには、循環型社会が必要であること、そして、そのことがCO₂の削減につながっていると自分では理解しました。基本方針の中に、このような取り組みをすることが、地球温暖化の防止につながるということを追記していただければ良いと思いました。

○会長

この計画は、廃棄物処理法に基づいて策定するものとなっています。持続可能な循環型社会、CO₂の削減の話等、そこまで言及していいのか、どうでしょうか。

○事務局

一般廃棄物処理基本計画素案の3ページ、一般廃棄物処理基本計画と、現在、議論していただいているごみ減量計画の上位にあるのが第3次豊中市環境基本計画です。先ほどのCO₂削減や地球温暖化のお話は環境基本計画の分野になっています。しかし、ごみ減量と全く無関係ではないので、少し言及することは可能だと思います。

○委員

今のお話は第2次豊中市環境基本計画に記載されており、豊中の環境中間報告・速報版にも詳しく記載されています。1行くらい解説を入れておけば良いと思います。

○会長

長々と書かずに、少し触れるということは可能かと思います。それから、先ほどのごみ減量計画素案 13 ページ、〈参考 4〉のグラフは、あまり適切ではないと思うので、文章で書くくらいにした方がよいのではないのでしょうか。あと、図のキャプションが〈参考 3〉、〈参考 4〉、〈資料 5〉と混ざっているので、統一していただきたい。

○委員

〈資料 5〉についても、表現の修正が必要だと思います。少量メニューがいいのかどうかを問うと、当然いいという回答になると思います。少量メニューは当然割高になるが、それでもいいのかどうかトレードオフ関係を明確にするべきです。

○会長

アンケートの品位が疑われるようなものについては、箇条書きで書くなどという形で対応していただくようお願いします。また、メニューはずいぶん網羅されています。全体の計画の文章の構成、体裁についてはいくつかご指摘が入っていると思いますので、少しブラッシュアップしていただくようお願いします。

案件 5. 計画の進行管理及び評価方法について

○事務局

(資料 4、当日配布資料 2、当日配布資料 3 に沿って説明)

○会長

モニタリング指標を定めて、行政内で確認しながら進行管理するということです。ただし、今まで少し指標の数が多すぎたので、これを簡素化して、いわゆる本業に差し障りのないようにするということです。

○委員

資源化率の話に戻りますが、クリーンランドで余熱利用発電しており、相当な量だと思うのですが、このサーマルリサイクルを資源化率に加えるという考えはないのでしょうか。知らない市民の方は多いと思うので、お知らせしてはどうでしょう。

○事務局

第 4 次の計画では、2R と質の高いリサイクルの推進をテーマにしています。それは、いわゆるサーマルリサイクルや建設資材の再利用など、一回限りのリサイクルではなく、繰り返し循環的に利用することが可能なリサイクルについて謳っています。資源化率にサーマルリサイクルを含めるところは考えておりません。

○委員

モニター指標の部分で 2R が出てこないように思いますが。

○委員

2Rに重点を置くということですが、資料3の「はじめに」の16行目には、「…地域での3R活動の活性化、…」との記載がありますので、他と整合性が取れていないように思います。

○事務局

3Rから優先順位の高い2Rにシフトしていこうという市の姿勢を示したいと考えています。しかし、地域での活動は集団回収事業などリサイクルの部分が非常に大きく関係していますので、地域での活動と統一できない部分もあります。記載箇所によっては3Rという言葉を使わないと説明できないところもあります。

○会長

2Rというのは、個人の行動に係ることであって、3Rはインフラを整えなければならないリサイクルなども指します。2Rの方へ誘導する施策に重点を置きたいのですが、これからは2Rで、リサイクルはいらないというのは言葉が過ぎると思いますので、その辺りに注意して進めていただきたいと思います。

案件6.「その他」について

○事務局

- (1) 環境フォーラム2017の案内
- (2) 次回案件について

次回案件は以下の通りです。

- ①第4次一般廃棄物処理基本計画策定(素案)にかかるパブリックコメント結果について
- ②第4次一般廃棄物処理基本計画(案)及び第4次ごみ減量計画(案)について

日程については、2月に開催したいと考えております。後日、開催案内を正式に送付いたします。以上です。

5. 閉会